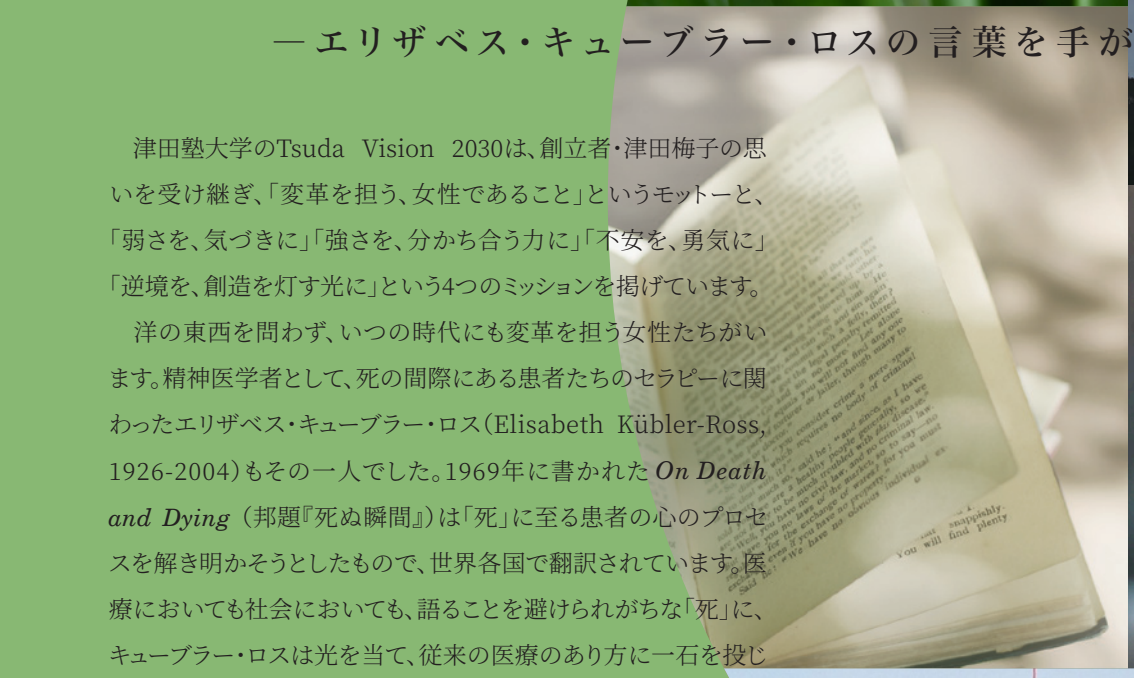
120周年記念事業　2022年度 第22回
高校生エッセー・コンテスト

逆境を、創造を灯す光に

―エリザベス・キューブラー・ロスの言葉を手がかりに―



津田塾大学のTsuda Vision 2030は、創立者・津田梅子の思いを受け継ぎ、「変革を担う、女性であること」というモットーと、「弱さを、気づきに」「強さを、分かち合う力に」「不安を、勇気に」「逆境を、創造を灯す光に」という4つのミッションを掲げています。

洋の東西を問わず、いつの時代にも変革を担う女性たちがいます。精神医学者として、死の間際にある患者たちのセラピーに関わったエリザベス・キューブラー・ロス（Elisabeth Kübler-Ross, 1926-2004）もその一人でした。1969年に書かれた *On Death and Dying*（邦題『死ぬ瞬間』）は「死」に至る患者の心のプロセスを解き明かそうとしたもので、世界各国で翻訳されています。医療においても社会においても、語ることを避けられがちな「死」に、キューブラー・ロスは光を当て、従来の医療のあり方に一石を投じました。患者一人ひとりの尊厳とは何かという問いに向き合い、あえて死を語るコミュニケーションを重視するターミナルケア（終末期医療）を推進するなど、彼女はまさに「変革を担う、女性」だったのです。一方、彼女の人生は「逆境を、創造を灯す光に」変える連続でもありました。

裏面のキューブラー・ロスが記した英文を手がかりにし、「逆境を、創造を灯す光に」をテーマにしたエッセーをお寄せください。

募集要項

【 募集内容 】
裏面の英文を読んで、「逆境を、創造を灯す光に」をテーマにしたエッセーを書いてください。
英語の場合は400words程度、日本語の場合は1000～1200字程度。

【 応募資格 】
高校生（国籍・学年・性別・居住地は問いません）

【 応募方法 】
所定のGoogleフォームにエッセーを記載して応募（郵送・持ち込み不可）。

Googleフォーム
https://forms.gle/Y2q1mMhyBAxo7fE49
※Googleフォームは下書き保存ができません。Wordファイル等に下書きを作成してから所定のGoogleフォームにコピー・アンド・ペーストしてください。

【 募集期間 】
2022年8月1日（月）~9月5日（月）12:00受付締め切り

【 表　　彰 】
最優秀賞1名（賞状及び副賞5万円を贈呈）
優秀賞若干名（賞状及び副賞1万円を贈呈）
最優秀作品は10月9日（日）津田塾大学において表彰し、津田塾大学広報誌『Tsuda Today』と津田塾大学ウェブサイトに、優秀作品は津田塾大学ウェブサイトに掲載・公表します。また、入賞者には10月7日（金）までに本人に通知します。なお、応募作品の著作権はすべて津田塾大学に帰属します。新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、表彰はオンラインで実施いたします。

【 問合わせ 】
津田塾大学ライティングセンター　高校生エッセー・コンテスト事務局
TEL：042-342-5129　E-mail：essaycon@tsuda.ac.jp
https://www.tsuda.ac.jp/aboutus/essay/index.html

個人情報は、本コンテストの目的以外には使用いたしません。 https://www.tsuda.ac.jp/privacypolicy.html

津田塾大学
TSUDA UNIVERSITY

Tsuda Vision 2030 － 変革を担う、女性であること －
弱さを、気づきに。強さを、分かち合う力に。不安を、勇気に。逆境を、創造を灯す光に。
https://www.tsuda.ac.jp/

津田塾大学ウェブサイトに、第1回～21回の
高校生エッセー・コンテストリーフレット等を掲載しています。

120周年記念事業　2022年度 第22回
高校生エッセー・コンテスト

逆境を、創造を灯す光に

―エリザベス・キューブラー・ロスの言葉を手がかりに―

少女時代に医師になる夢を抱き、スイスからポーランドへ渡り、激動の第二次世界大戦を経て渡米、精神医学者として多くの死に向かう人たちのセラピーに関わったエリザベス・キューブラー・ロス。死に瀕した患者と向き合ったことで「患者を利用している」といった非難も浴び、医学界で孤立しました。晩年は社会的偏見に立ち向かい、エイズの子どもたち（当時はエイズに対する偏見や差別が社会に根強くありました）のためのセンター創設に情熱を傾けます。しかし、反対派の放火による火災で建物も過去の貴重な記録も、すべてを失うという失意に見舞われました。これほどの逆境にあいながら、彼女は次のような言葉を自伝 *The Wheel of Life*（邦題『人生は廻る輪のように』）に記しています。

Everyone goes through hardship in life. The more you go through, the more you learn and grow.（略）
Adversity only makes you stronger.（略）
Life is hard. Life is a struggle.
Life is like going to school. You are given many lessons. The more you learn, the harder the lessons get.
This was one of those times, one of those lessons. Since there was no use denying the loss, I accepted it. What else could I do?

また、次のようにも語っています。

It is very important that you do only what you love to do. You may be poor, you may go hungry, you may live in a shabby place, but you will totally live. And at the end of your days, you will bless your life because you have done what you came here to do.

一人ひとりが意味をもってこの地球の上に存在しているということ。それこそ、尊厳というものではないでしょうか。人類の災禍が地球を揺るがすなか、キューブラー・ロスは次世代の私たちに、多難な時代を生きていくための指針を残してくれました。

The sole purpose of life is to grow. The ultimate lesson is learning how to love and be loved unconditionally. There are millions of people on Earth who are starving. There are millions who are homeless. There are millions who have AIDS. There are millions of people who have been abused. There are millions of people who struggle with disabilities. Every day someone new cries out for understanding and compassion. Listen to the sound. Hear the call as if it was beautiful music. I can assure you that the greatest rewards in your whole life will come from opening your heart to those in need. The greatest blessings always come from helping.

I truly believe that my truth is a universal one—above all religions, economics, race and color—shared by the common experience of life.
All people come from the same source and return to the same source.
We must all learn to love and be loved unconditionally.

地球の未来を憂いたキューブラー・ロスは、困難を乗り越えるためのアイデアを書きためていましたが、その日記も消失してしまいました。しかし、記憶からは消えなかったヒントをいくつか示しています。

I worried about the future of the world. As portrayed in newspapers and on CNN, it looked scary. I gave credence to people who warned that the planet would soon be rocked by catastrophic events. My own journals were filled with thoughts and ideas intended to prevent that kind of pain and suffering. “If we view ALL living things as a gift of God, created for our pleasure and enjoyment, to love and respect, to treasure and to guard for our next generations, and look after our own self with the same loving care---the future will be something NOT TO BE FEARED, but treasured.”

Unfortunately, all those journals would be destroyed. But a few other entries come to mind:
- Our todays depend on our yesterdays and our tomorrows depend on our todays.
- Have you loved yourself today?
- Have you admired and thanked the flowers, treasured the birds or gazed up at the mountains and felt a sense of awe?

2022年の今も、わたしたちが生きる地球には様々な分断や困難が立ちはだかっています。高校生のみなさんも、大小の逆境を経験してきたことでしょう。逆境を、創造を灯す光に――。みなさんの経験や学びなどをもとに、自由にエッセーを書いてみてください。英語でも日本語でもかまいません。

協　　力　Ken Ross氏
参考図書　Kübler-Ross, Elisabeth. *The Wheel of Life : A Memoir of Living and Dying.* A Touchstone Book, 1997.

募集要項および応募方法の詳細については津田塾大学WEBサイトをご覧ください。
https://www.tsuda.ac.jp/aboutus/essay/index.html